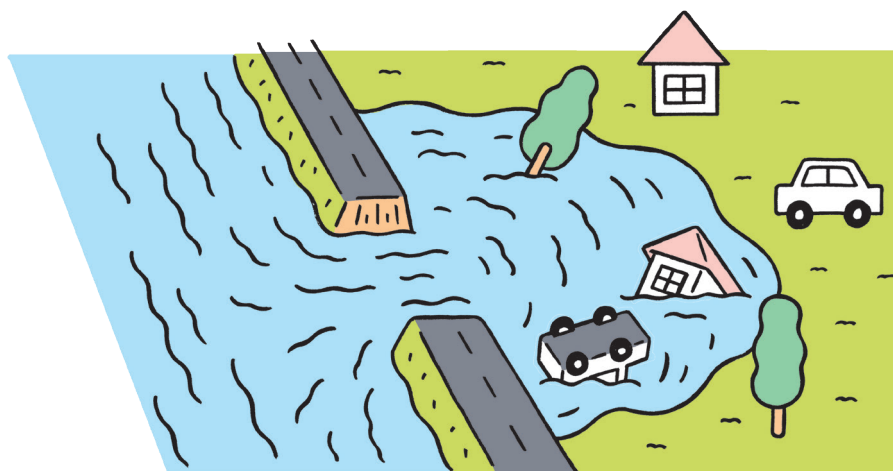


第 3 章

風水害・土砂災害対策



1 自分の住んでいる地域を知り、日頃から備えよう

- ・ハザードマップで自分の住んでいる地域の浸水や土砂災害などのおそれを確認し、避難行動や避難先を考えましょう。
- ・自分の住んでいる地域の過去の浸水箇所や土砂災害警戒区域などを、ホームページなどで確認しておきましょう。

世田谷区ホームページで確認しましょう。

世田谷区洪水・内水氾濫 ハザードマップ

浸水が予想される区域や浸水の程度、水害時避難所などを記したものの。窓口でも配布しています。



世田谷区土砂災害 ハザードマップ

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域と避難所を記したものの。窓口でも配布しています。



世田谷区雨量・水位情報

区内に設置した雨量局・水位局のデータや河川水位監視カメラ画像を確認できます。



土のうステーション(土のう置き場)

土のうステーションからは、区民の皆さんが必要に応じて土のうを持ち出せます。その設置場所が確認できます。



東京都ホームページで確認しましょう。

東京アメッシュ

東京の詳細な降雨情報を5分おきに確認できます。



東京都水防災 総合情報システム

東京都が観測している降水量や河川水位情報等をリアルタイムに確認できます。



東京都土砂災害等 警戒区域等マップ

東京都が作成している土砂災害警戒区域等のマップを確認できます。



国土交通省ホームページで確認しましょう。

国土交通省関東地方 整備局京浜河川事務所 ホームページ

多摩川の水位や河川ライブカメラ画像等をリアルタイムに確認できます。
東京の詳細な降雨情報を5分おきに確認できます。



気象庁ホームページで確認しましょう。

気象庁ホームページ

全国の気象警報・注意報等をリアルタイムに確認できます。



2 家の点検をし、対策を立てておこう

- ・ 強風により飛ばされる物が無いかなど、家の周りを点検しましょう。
- ・ 水が流れ込む可能性の高い(半)地下駐車場や地下室などがある場合は、止水板や土のうを用意するなど、対策を考えておきましょう。
- ・ 道路沿いの側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水が起こりやすくなります。日頃から側溝をふさがないように気をつけ、定期的に掃除しましょう。
- ・ 区民の皆さんが必要に応じ、いつでも土のうを持ち出せる「土のうステーション」(簡易土のう置場)を設置しています。設置場所は、区のホームページで確認できます。

※ 台風や大雨が予想される場合は、土のうが不足することがありますので、日頃からの準備をお願いします。

● 土のうステーションに関すること

[問い合わせ先]

土木計画調整課

☎ 6432-7954 FAX. 6432-7993



column 竜巻から身を守るために

竜巻は短期間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。そして、竜巻は日本のどこでも発生する可能性があるので注意が必要です。発達した真つ黒い積乱雲が近づき、周囲が急に暗くなった場合は、竜巻発生の可能性を考えて、すぐに身を守るための行動をとってください。

● 外にいる場合は、すぐに頑丈な建物内に避難

外は大変危険なので、すぐに頑丈な建物の中に避難します。建物の近くに電柱や太い樹木がある場合は、竜巻によって倒壊することがあるため、離れましょう。

● 家の中にいる場合は、1階の窓のない部屋に避難

窓やカーテンを閉め、窓から離れ、1階の窓の無い部屋に避難し、身を小さくして頭部を守りましょう。

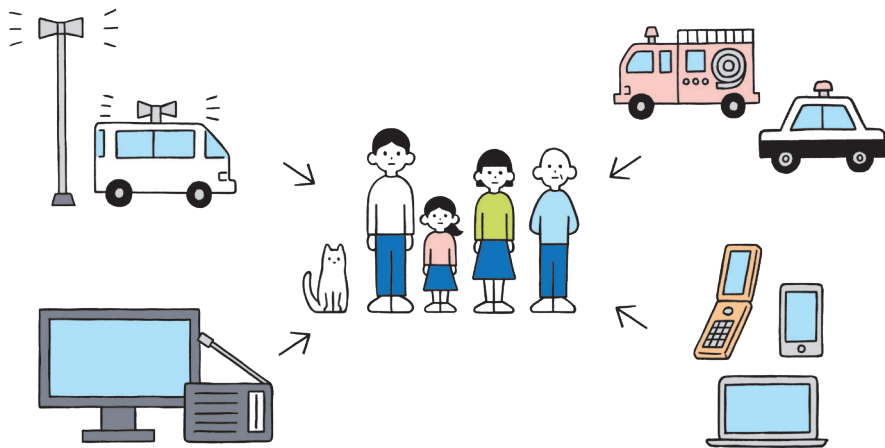
3 風水害・土砂災害時の行動

■ 正しい情報収集を行う

正しい情報収集先で、正確な情報を集めましょう。(P70参照)

情報収集先

テレビ(データ放送)、ラジオ(エフエム世田谷 83.4MHz)、区ホームページ、広報車、区の災害・防犯情報メール配信サービス、ツイッター(区公式)、防災行政無線、LINE、電話・FAXによる災害時情報配信サービス、Yahoo! 防災速報、水害時・土砂災害時避難所混雑確認システム など



■ 水の使用を控える

大雨の時は雨水により下水道の排水能力を超える場合があり、下水逆流の被害につながる恐れがあるため、洗濯や風呂などの排水は極力控えましょう。

4 避難のタイミング

危険を感じたり、以下の避難情報の種類を参照にして、区から避難指示等が発令された場合は、すみやかに避難しましょう。水害、土砂関係の避難所は、洪水・内水氾濫、土砂災害の各ハザードマップをご確認ください。

■ 避難情報の種類

警戒レベル	状況	避難情報等	取るべき行動
5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保 (区が発令)	命の危険 直ちに安全確保
~~~~~ 警戒レベル 4 までに必ず避難！ ~~~~~			
<b>4</b>	災害の おそれ高い	避難指示 (区が発令)	危険な場所から 全員避難
<b>3</b>	災害の おそれあり	高齢者等避難 (区が発令)	危険な場所から 高齢者等は避難
<b>2</b>	気象状況悪化	大雨・洪水注意報等 (気象庁発表)	自らの避難行動を確認
<b>1</b>	今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁発表)	災害への心構えを高める

### 河川の洪水予報について

洪水予報（指定河川洪水予報）は、大雨により河川の増水、氾濫が発生するおそれがあるときに気象庁と国や都が共同して発表する防災情報です。

多摩川の 洪水予報について	多摩川の洪水予報は、危険度のレベルに応じて4種類に分かれています。区は、気象庁・国から出される洪水予報や河川水位、気象状況等を踏まえて避難指示等の避難情報を発令します。
野川・仙川の 洪水予報について	野川・仙川は、大雨時の水位上昇が速いため、「野川・仙川氾濫危険情報」のみが発表されます。発表後、短時間で河川が氾濫するおそれがあるため、建物の2階など高い場所への避難、地下室からの移動などの行動をしてください。

洪水予報の 標題（種類）	区市町村・住民に 求める行動の段階	警戒 レベル	洪水予報の標題（種類）
<b>多摩川氾濫 発生情報</b> (国から緊急速報メール※による通知)	氾濫の発生。氾濫水への 警戒を求める段階。警戒レ ベル5相当	5相当	
<b>多摩川氾濫 危険情報</b> (国から緊急速報メール※による通知)	いつ氾濫してもおかしくな い状態。氾濫発生に対す る避難等の対応を求める段 階。警戒レベル4相当	4相当	野川・仙川 氾濫危険情報
<b>多摩川氾濫 警戒情報</b>	避難準備などの氾濫発生に 対する警戒を求める段階。 警戒レベル3相当	3相当	
<b>多摩川氾濫 注意情報</b>	氾濫の発生に対する注意を 求める段階。	警戒レベルの相当情報とは、避難の目安となる 気象情報です。世田谷区は、必ずしも警戒 レベル相当情報の発表と同時に、避難情報を 発令するわけではありません。気象情報を参 考に、適切な避難行動をとってください。	

※緊急速報メールは、世田谷区内にいる方の携帯電話やスマートフォンなどに送信されます。

## 避難の際に気をつけること

### 要配慮者は、早めに避難

避難に時間のかかる要配慮者（高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、外国人など）の方は、早めに近所の方や支援される方と一緒に避難しましょう。

### 避難行動について

#### 水平避難（立ち退き避難）

避難所や安全な場所、近隣の高い場所へ移動すること。避難するときは、狭い通路を避け、足元に充分注意しましょう。

#### 垂直避難（屋内安全確保）

建物の2階以上など、より高い場所へ避難すること。屋外への避難が危険な場合にいきましょう。

### column 避難所に行くことだけが避難ではありません

避難というと、小・中学校等の避難所へ行くことを考えますが、避難所を利用する以外にも様々な避難の方法があります。自身や家族に合った避難の仕方や避難先を今一度考えてみましょう。

**自主避難** 自身で宿泊施設などを確保して避難する

**縁故避難** 浸水のおそれがない家族や親戚、知人の家に避難する

**在宅避難** 自宅に浸水のおそれがない場合は、避難所を利用せず、自宅で過ごす